

OM課長の図書館俳句散歩道（年の暮れの巻）

いよいよ師走になりました。師走の主な語源説として、師匠の僧がお経をあげるため東西を馳せる月と解釈する「師馳す」があるそうです。
年末が近づいています。年の暮れの代表的な俳句を紹介します。

ふる里や へその緒に泣く 年の暮れ 芭蕉

芭蕉は故郷を愛し、『野ざらし紀行』『鹿島紀行』『笈の小文』『更科紀行』『奥の細道』『嵯峨日記』と旅に生き、旅に死んだ漂泊の詩人として俳句を綴っています。そして最後の旅は故郷が終着点になっています。
なつかしいふる里の父母、そして自然、温かみのある詩情を感じる句です。
芭蕉のふるさととは 伊賀です。

ともかくも あなたまかせの 年の暮れ 一茶

この句の「あなたまかせ」というのは、他人まかせという意味ではなく、阿弥陀様のことを指しています。一茶は浄土真宗の門徒であり、信仰の篤い父の影響を受けたようです。

3歳で母を亡くし15歳で奉公に出され39歳で故郷に戻ると看病の甲斐なく父を亡くし、遺産相続問題が継母・異母弟との間に起こります。結婚してから授かった4人の子供は夭逝し、妻とも死別します。

我ときて 遊べや親の ない雀
やせ蛙 まけるな一茶 これにあり

「雀」や「やせ蛙」とは 一茶自身のことかもしれません。
一茶の俳句には ユーモアの中に愛があふれています。

「おらが春」の中にあるこの一句の「あなた」とは、一緒に暮らす家族、縁のある人、ふるさとの自然、鳥や動物、身近にある小さな「しあわせ」かもしれません。

人生に対する悲しさや深さを見つめ、そして心が浄化されていく「やさしさ」を感じる句です。

年の暮れが近づいています。今年1年に感謝して、新しい素直な気持ちで新年を迎えたいものですね。

今年読み残した本はありませんか？ 図書館で「あなた」の名著を探してください！

感動で 泣きし名著や 年の暮れ

[メールマガジン「すだち」第71号本文へ戻る](#)